

遮熱特性測定器 TP-01

使用方法

通常測定方法

- ① 測定器本体を LCD 画面が見やすい角度に調節する
左右のハンドル元のボタンを押してカチッというところで角度を決める
- ② 光学プローブを接続する
プローブのケーブルコネクタを溝を合わせ正面パネルに真っ直ぐに挿す
外すときはコネクタのリングを左に回しながら外す
- ③ 正面パネルの電源スイッチを入れる
- ④ 光学プローブを測定対象物にセットする



- ⑤ LCD 画面の「測定開始」ボタンを押す
「各波長の反射率」および近赤外の「日射反射率」が表示されます
- ⑥ 測定対象物が複数の場合、操作4から5を繰り返す
- ⑦ 測定終了後電源スイッチを切る
- ⑧ 収納時は光学プローブを外す

⑥測定する時 校正する時



LCD 通常画面表示

校正方法

電源を入れるまでは上記と同じ

- ① LCD 画面右上の「校正」ボタンを押し、「校正」画面になったことを確認する
 1. 「0基準板」に光学プローブをセットする
 2. LCD 画面左の「0測定」ボタンを押す
新たな測定値が入力されたことを確認する
 3. 「100基準板」の白丸中央に光学プローブをセットする
 4. LCD 画面左の「100測定」ボタンを押す
新たな測定値が入力されたことを確認する
- ② LCD 画面右上の「戻る」ボタンを押す
通常の「測定開始」画面に切り替われば校正作業は終了です



0基準板

充電方法

- ① 付属の充電器を AC 100V コンセントに差し込む
- ② 測定器本体裏面の充電ジャックに充電器のプラグを差し込み充電を開始
- ③ 充電器の表示灯が赤から緑に変わればフル充電完了です



充電器の表示灯



トランクケース付き

梱包内容



充電器

測定器本体

光学プローブ

0基準板

100基準板

仕様

| | |
|---------|-------------------------------------|
| 光源 | 赤外発光ダイオード |
| ピーク発光波長 | 850nm、1050nm、1200nm、1550nm |
| 受光器 | InGaAs フォトダイオード |
| 測定範囲 | 反射率：0～100% |
| 精度定格 | フルスケールの±1% |
| 測定時間 | 約3秒 |
| 電源 | リチウムイオン電池 充電:12時間 可動:8時間 |
| 寸法 (mm) | 本体 250(W)×100(H)×200(D) プローブ Φ50×95 |
| 重量 | 2.4kg |

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。